

新しい議会へ
60年間の歩みを活かした、
ますます住みやすい大竹に繋げるべく、

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい平成26年の新春を、お健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

本市では、小方ヶ丘に住宅建設が、栄町地区には商業施設建設が進み、また、晴海臨海公園の整備において野球場などの完成も近づいており、マチの中で目に見える動きが起っています。

こうしたなか、大竹市は、今年市制施行60周年を迎えます。
耳順一

孔子はこの年月をかけて、やっど他者の言葉を素直に聴けるようになったと述べています。もちろん人の生き様とマチの成り立ちを安易に並べることはできませんが、仮に議会に当てはめた場合、それはすなわち市民の声に耳を傾けるということにならないでしょうか。

大竹市議会では現在、議会改革調査会での活動の中で、議会がより正しく機能していくための議会基本条例の制定に向けて研究を続けており、また広報広聴特別委員会では議会報告会(仮称)の開催に向けて検討を始めています。

耳にする情報の量も多くなっている昨今、これまで議員一人一人が整理していた情報を、組織としての議会で収集～整理～再発信していく仕組みにつながれば、この60年間の歩みを活かした、新しい時代に対応できる議会に一步近づきます。

時代の大きな波を的確に捉えながら、市民の皆さまにとって住みやすい「わがマチ大竹」をつかっていくため、民意を正しく市政に反映させるべく、この60周年の意義を重く受け止め、良き契機として、決意も新たに議会の総力を挙げ邁進してまいります。

今後とも、皆さまの温かいご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、皆さまにとってこの一年が幸多い年となりますことをお祈りいたしまして新年のごあいさついたします。

大竹市議会議長

寺岡公章

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

昨年は小方ヶ丘が完成し、まちの魅力がまた1つ増えました。小・中学校の移転や給食センターの新設とともに、宅地には多くの家が立ち並んでいます。

市民の皆さまの夢や希望を糧に、住みやすさを求めて発展をしてきた本市ですが、今年で市制施行60年という節目の年を迎えます。

これまで先人の皆さまは、すばらしい大竹のまちをつくり上げてこられました。これからは、その良さを継承しながらも、さらに笑顔と元気があふれ、お一人お一人が輝いているまちをつくっていかねばなりません。

まちづくりは行政の力だけでは到底できません。まちへの誇りや愛着を持って、自分たちでまちをつくっていかうという市民の皆さまの強い思いが必要となります。市民の皆さまと行政が共に手を携え、互いに夢を持ち、知恵を出し合い、汗を流しながら、まちづくりを進めていけば、その夢、知恵、汗の数だけまちは輝きます。

市制施行60周年記念事業は、市民の皆さまからいただいたご提案を、市民と行政がお互いに役割分担し、協働しながら進めています。

節目の年のスタートになる今月は、2次募集を行いますので、さらなる「よいまち」に向けてのご提案を歓迎します。60周年をみんなで祝い、これからの輝く未来をつくる第1歩となる、そんな1年にしてまいりたいと思います。

本年が皆さまにとりまして平穏で素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

大竹市長

入山欣郎

みんなの力を結集して
市制施行60年を、さらなる「よいまち」への
新たな始まりの年に

謹賀新年